

人口問題対策調査 特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 宮川 吉男 |
| 副委員長 | 竹田 良平 |
| 委員 | 東 浩一 |
| 〃 | 南藤 陽一 |
| 〃 | 木下 裕介 |
| 〃 | 宮西 健吉 |
| 〃 | 橋本 米子 |

本委員会の「人口減少社会における少子化対策・高齢化対策等に関する調査」は一定の結論を得ましたので、今定例会をもって終結します。本市の活力を維持・拡大するために、引き続き独自性あふれる政策を掲げ、事業推進に邁進されることを期待しまして最終の報告をします。

■少子化対策について

少子化問題の原因は、社会環境の変化による若い世代の未婚・晩婚化等であり、まず結婚する人数を増やすことが重要です。市では、婚活支援事業に補助を実施していますが、大人数の事業に加えて、少人数で個別に行うお見合い事業についても積極的なサポートを求めるものです。

当市では20～30代の女性の流出が大きく、2000年からの10年でおよそ2千人減少している現状から、若い世代が戻りたくなくなるまちづくり・子育て世代を呼び込むまちづくりが重要です。魅力ある企業や新しい産業の育成・誘

致、特色のあるこども園の整備など、2020年住みよさランキングで8位に選ばれた実績のPR強化とともに更なる社会環境の充実を求めるものです。

次に、核家族化が進んでいる現在、子育てにかかる負担感は以前に増して大きくなっています。コロナ禍の今、テレワークなどと合わせて男性の育児休暇など柔軟な働き方を積極的に進める施策が必要であり、事業者への啓発や支援を求めるものです。また、経済的なサポートとして、引き続き子育てに対する経済的支援制度の創設・拡充の検討を求めるものです。

■高齢化対策について

高齢化対策を考えるうえで、「生きがい」が重要なキーワードであり、高齢者の生きがいにつながる制度をさらに支援し充実・創設することが重要です。

小松市シルバー人材センターに登録される約8割の方は、「健康増進」や「生きがい」が目的であることから、「生きがい」を持つて働ける仕事の種類を増やすよう、企業や関係機関と連携を図りながら普及啓発を積極的に進めるよう求めるものです。

次に、「生きがい」教室について、ICTを使って趣味と実益を兼ねたスマートフォン教室は、デジタル化の社会において、防災・減災の観点や健康サポートの面からも大変重要です。今後

は高齢化対策も合わせ、より積極的にスマートフォン活用を推進する取組みを検討するよう求めるものです。

本市ではいきいきサロンの活動など地域での活動が大変活発です。しかし、多くの地域では家に閉じこもっている高齢者を行事に参加させることが難しく、大きな課題となっています。町内会など各団体と連携を深め、地域での自発的な活動をより一層サポート・後押しするよう求めるものです。

■過疎地域対策、移動手段対策について

過疎地域対策として、中山間地の活性化政策では、「里山の振興」と、「農業振興」を柱に事業を行っており、過去10年の対象地区の人口数を見ると減少幅が改善されています。本市には、まだまだ豊かな自然や地域資源があり、今後の展開に期待するとともに、より一層の里山地域の魅力発信、各団体との連携強化を求めるものです。

次に移動手段対策について、現在、本市では路線バスや地域、民間事業者のワゴンなど様々な移動手段がそれぞれの立場で行われていますが、それらを俯瞰的に見ることが重要です。交通手段が少ない地域を支援するため、バス路線を本線としてそこに地域のワゴンなどが連結してエリアを補完する「交通連結点」を意識した一歩踏み込んだ移動支援サービスの検討を求める

ものです。

乗り合いワゴン事業では、担い手不足の問題から地域協議会等への支援内容の拡充のほか、旅客輸送のノウハウを持つ事業者と連携するなど、地域負担を軽減する仕組みを検討するよう強く求めるものです。

また、買い物が困難な地域や移動手段が少ない地域の方々の暮らしを守るため、移動販売車を利用することも重要な対策です。事業者とサービスを求める地域をマッチングするニーズ調査やソフト面でのサポートを求めるものです。

一方、今後ますます免許証を返納する方が増えてくることから、返納した際の支援について、タクシー乗車券など1度きりでなく、継続して実施するよう検討を求めるものです。



交流人口拡大に関する調査 特別委員会

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 表 靖二 |
| 副委員長 | 吉村 範明 |
| 委員 | 岡山 晃宏 |
| 〃 | 吉田 寛治 |
| 〃 | 吉本慎太郎 |
| 〃 | 円地 仁志 |
| 〃 | 杉林 憲治 |

調査事項について、一定の方向性を見出したとの意見の一致を得、今定例会をもって、調査を終結することと致しました。

以下、最終の報告をします。

鉄道在来線について

並行在来線は住民の日常生活に欠かせない交通手段であり、運賃値上げ幅の抑制は第一義の課題です。利便性向上による利用促進、沿線自治体との支援体制の構築など対策を求めます。

「かがやき」の停車駅について

空港と駅が近く、ビジネス客が多く、観光資源豊富な小松市は、かがやきが停車する可能性は大いにありますが、地元の機運を高め、積極的に誘致活動を行い、PRすることも重要であります。早急に活動体制を整えるよう求めます。

関西・中京圏からのアクセス向上について

新幹線小松開業後は、特急列車は新幹線に移行され、「関西・中京圏—小松」移動の際、敦賀駅での乗換えが必要となつてきます。敦賀延伸後のアクセス向上のため、特急列車延伸、快速列車の運行などJRへ要望すべき、この意見がありました。

2次交通手段について

令和2年度内閣府の未来技術社会実装事業に「小松市における2次交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業」が選定されました。今後とも自動運転、Maas、バスの運行ルートの見直しなど2次交通手段の強化に努め、空港と新幹線駅を核とした目的地へのスムーズな移動支援を求めます。

広域観光について

世界的な新型コロナウイルス感染症流行は、観光、インバウンドに大きな打撃を与えました。感染症と向き合い、ニューノーマルの生活様式を構築することが課題であり、感染症拡大防止と地域経済の維持のため、観光においても対策を講じています。

粟津温泉の交流人口拡大について

東京オリンピック・パラリンピック、日本遺産サミットなど大型イベントが予定されています。参加者が小松市で宿泊していただけるよう地元の宿泊施

設とコンベンションをつなげる仕組みを構築するよう求めます。

コンベンション誘致には、施設整備の基準がある場合が多いので、ハード整備も実施検討するよう求めます。

市内コンベンション開催支援について

令和2年度より助成額が、拡大しましたが、更なる助成額の拡大を求めます。

那谷寺の交流人口拡大について

那谷寺には価値のある建築物・名勝等が数多くあります。文化財の修理に對し、国等からの補助もありますが、那谷寺の負担も大きく、修理対象にできない箇所もあるとのこと。那谷寺には国指定の重要文化財が沢山あり、歴史的にも価値が高いことから、国宝指定への検討を望む意見がありました。

安宅地区の交流人口の拡大について

安宅町は自然景観、白砂青松、「勸進帳」の物語など歴史もあり、観光客に根強い人気があります。また、空港やインターが近く、県内外から参拝に訪れるなど集客力があります。

現在、安宅の整備計画によりハード整備が行われていますが、安宅地区だけでなく、移動の拠点となる空港から安宅地区に向かう道路も安宅の歴史ロマンを感じられるよう整備するよう求めます。

旧市街地の交流人口の拡大について

旧市街地の商店主達がオンラインツアーを開催する等、歴史と商店の魅力を発信する取組が行われています。地域主導の地域づくりは、望ましい形であり、継続していけるよう、助成制度の創設やまちづくりを応援する地域おこし協力隊の派遣など、支援体制づくりを行う必要があるとの意見がありました。

戦略的な広報活動について

新幹線金沢開業により、多くの観光客が石川県を訪れておりますが、小松市内団体等によると、利用客の増加は感じられないとの意見でした。新幹線小松開業に向け、首都圏への広報を強化するよう求めます。

新幹線と小松空港との連携・共存について

レール・アンド・フライトの相乗効果により、旅客の選択肢が広がり、インバウンド需要の拡大に大いに資するものです。今後とも空港機能の充実に向け、国や県と協議していくよう求めるものです。

現在、安宅新地区土地区画整理事業が実施されています。立地条件を生かし、新たな産業や賑わいを創出する本事業は、非常に重要であり、効果的に展開していくよう求めます。

◆3月定例会の議決結果◆

■全会一致で議決された議案

| | 議案名 | 議決結果 |
|-----------------------------|--|------|
| 予算案 (16件) | 第2号 令和3年度小松市国民健康保険事業特別会計予算 | 可決 |
| | 第3号 令和3年度小松市介護保険事業特別会計予算 | // |
| | 第4号 令和3年度小松市公債管理特別会計予算 | // |
| | 第5号 令和3年度小松市産業団地事業特別会計予算 | // |
| | 第7号 令和3年度小松市水道事業会計予算 | // |
| | 第8号 令和3年度小松市下水道事業会計予算 | // |
| | 第9号 令和3年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算 | // |
| | 第10号 令和2年度小松市一般会計補正予算(第13号) | // |
| | 第11号 令和2年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号) | // |
| | 第12号 令和2年度小松市介護保険事業特別会計補正予算(第4号) | // |
| | 第13号 令和2年度小松市公債管理特別会計補正予算(第1号) | // |
| | 第14号 令和2年度小松市産業団地事業特別会計補正予算(第1号) | // |
| | 第15号 令和2年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) | // |
| | 第16号 令和2年度小松市下水道事業会計補正予算(第2号) | // |
| | 第17号 令和2年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算(第7号) | // |
| 第23号 令和2年度小松市一般会計補正予算(第14号) | // | |
| 条例案 (4件) | 第18号 小松市介護保険条例及び小松市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第19号 小松市建築基準条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第20号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について | // |
| | 第21号 小松市火災予防条例の一部を改正する条例について | // |
| その他議案 (3件) | 第22号 工事請負契約について | // |
| | 第24号 教育委員会教育長の任命について | 同意 |
| | 第25号 固定資産評価審査委員会委員の選任について | // |
| 議員提出議案 (3件) | 第1号 小松市議会会議規則の一部を改正する規則について | 可決 |
| | 第2号 尖閣諸島周辺海域での中国公船による漁船追尾等に関する意見書 | // |
| | 第3号 新型コロナウイルスワクチンに関する意見書 | // |
| その他案件 (1件) | 議員の派遣について(石川県市議会議長会研修「市町村議会議員特別セミナー」) | // |

■賛否が分かれた議案

○は賛成 ×は反対 退は退席 欠は欠席

| 議案名 | 会派自民 | | | | | | | | | | | 自民党こまつ | | | | 無会派 | | | | 議決結果 | | |
|----------------|---------------------------|------|-----|------|------|-------|------|------|-----|------|------|--------|------|------|-----|------|------|-------|------|------|------|------|
| | 灰田昌典 | 杉林憲治 | 表靖二 | 宮川吉男 | 出戸清克 | 吉本慎太郎 | 梅田利和 | 南藤陽一 | 東浩一 | 岡山晃宏 | 竹田良平 | 宮西健吉 | 川崎順次 | 円地仁志 | 二木攻 | 吉村範明 | 橋本米子 | 片山瞬次郎 | 新田寛之 | | 木下裕介 | 吉田寛治 |
| 予算案 (2件) | 第1号 令和3年度小松市一般会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| | 第6号 令和3年度小松市後期高齢者医療特別会計予算 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | 可決 |
| 議員提出議案 (1件) | 第4号 児童手当特例給付の削減に反対する意見書 | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | ○ | ○ | 否決 |

※高野哲郎議長、新田寛之副議長は、小松市議会運営規約第4条に基づき、会派に所属していません。

※高野哲郎議長は、採決には加わりません。

※円地仁志議員は、1月7日より会派が自民党こまつに変更となりました。

- ☆議会傍聴
- ☆テレビ小松
- ☆ホームページ(議会生中継、録画配信)

<https://www.city.komatsu.lg.jp/citycouncil/index.html>



6月定例会の日程は、ホームページやお茶の間ガイドでお知らせしますので、ご確認ください。



【問い合わせ】 議会事務局 ☎0761-24-8138

「小松市イメージキャラクター カブッキー」

編集後記

議会だより編集委員会

委員長 南藤 陽一 副委員長 竹田 良平
委員 岡山 晃宏 東 浩一 吉田 寛治 吉村 範明



初当選からの6年間、今期の前期は、委員長として議会だより編集委員会に携わらせていただきました。

この議会だよりは、議会にあわせて年4回発行されますが、レイアウトの構成や紙面のカラー化など、市民の皆様如何にわかりやすく伝えられるかを第一義に取り組んでまいりました。いかがだったでしょうか。

今はインターネットやSNSなど、デジタル化による大量の情報を得られる時代ではありますが、この議会だよりは、直接ご家庭にお届けする議会からのお便りとして、少しでも小松市議会を身近に感じていただければと考えております。

これからも、わかりやすい紙面になるよう努めてまいりますので、市民の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。(南藤 陽一)

珍香楼
シェアン

〒923-0801 石川県 小松市 園町ニ57-1
TEL 0761-22-2551

営業時間
AM11:30~PM2:30 PM5:30~PM9:30
定休日:月曜日

レストラン & カフェ
海とハクサン
〒923-0999
石川県小松市行徳町3-30
小松空港ターミナルビル2階
国内線南口前
TEL.0761-58-1185

| | | | | | | |
|-----------------------------------|---|--|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--|
| 不動産鑑定士 澤矢豊伸 TEL0761-21-1122 | 中小企業診断士 社会保険労務士 竹内広幸 TEL0761-22-9990 | 税理士 行政書士 谷口勇一 TEL0761-76-5503 | 弁護士 杉本昌之 TEL0761-24-3633 | 弁護士 中西祐一 TEL076-256-5413 | 司法書士 三輪哲也 TEL0761-43-0848 | 土地家屋調査士 行政書士 山崎 豊 TEL0761-20-3175 |
|-----------------------------------|---|--|--------------------------------|--------------------------------|---------------------------------|--|



◆法律◆多重債務◆税金◆登記
◆年金◆会社設立◆相続 等
のご相談をお気軽に【秘密厳守】
私たちが相談に応じます。

サポートネット 専門家による無料相談会

日時●5月22日(土) ●6月19日(土) ●7月10日(土) 9時~11時30分 会場●小松商工会議所